

カミノトピックス

リトレッドタイヤは環境にやさしい

今回、千歳市上長都にある『ブリヂストンBRM株式会社』様をご紹介します。

本社は埼玉県加須市にあり、全国に5カ所の工場があります。

環境に配慮したリトレッドタイヤを製造・販売しています。

1972年に千歳市北信濃に「北海道リトレッド株式会社」として操業を開始、1982年に現在の場所に新工場を建設し、2009年ブリヂストンTRK(株)とブリヂストンSRC(株)が合併し現在に至っています。

千歳工場の従業員は35名で、バス・トラック用のリトレッドタイヤを年間約8万本製造しているそうです。

リトレッドタイヤは、新品で使用されたタイヤの溝が減った表面部分を削り、HOT方式と呼ばれる製法で、新しいゴムを貼り新しい溝をつけます。

リトレッドタイヤは石油使用料で68%、CO₂は41%の削減ができ二層ゴム構造の採用により新品同様の性能で安心して使用できます。また、グリーン購入法に適合しており、経費削減にもつながります。

2008年には全国の工場で、操業以来累計1,000万本の製造を達成しています。

日本におけるバス・トラック用タイヤのリトレッド比率は約20%ですが、ヨーロッパでは80%を超え、中には100%以上の国もあるそうです。日本でもまだまだ伸ばせそうですね。

特に車社会の北海道。車にはタイヤが絶対必要です。本体も環境に配慮されてきていますが、タイヤも環境を考えたリトレッドで、これからは地球環境にやさしい車社会になることを願います。

皆さんのタイヤはどうか。

(談：W.F・岡田)



老人力も社会との接点活動で強化

今回、1月17日にオープンした『翔仁会介護付有料老人ホーム悠々』様をご紹介します。

北広島の輪厚三愛病院に隣接し国道36号線から100m程中に入った所で、輪厚インターからも車で1分という好立地にあります。施設では、可能な限り自立した生活を送ることができるよう、自立支援を基本とされており、援助が必要な面はスタッフの方が対応していただけます。施設の内装もベージュを基に明るくやさしい落ち着いた雰囲気です。総室数50室で、他の施設には無いフィットネスルームも備え、お風呂は決められた時間内であればいつでも入れます。食事管理栄養士のもとしっかり管理されており、内容も豊富でとても美味しそうでした。また部屋でも調理ができるようミニキッチンが備え付けてあります。春から駐車場横に家庭菜園もできるスペースを用意するそうです。ご家族の方も宿泊することができ、多目的室では入居者の方々とカラオケやマージャンなども楽しめ、年に数回、誕生会や忘年会などのイベントも催されるそうです。

協力医療の病院も隣接しているので、健康診断や往診も対応していただけるとのことでした。

取材させて頂いた時も長坂施設長様は、見学される方・体験宿泊の対応など大変お忙しいそうでした。對馬理事長様もおっしゃっていますが「有意義な人生とは社会との接点が大事」と言われていました。

お話を聞いていて、「有意義に過ごす」ためを考え、いろいろな設備・対応を整え、そして何よりも入居者の皆さんとスタッフの皆さんのコミュニケーションが「悠々」となるのだと感じました。

お忙しい中取材させていただきありがとうございました。

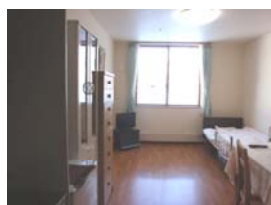
(談：W.F・柴田)



明るく日差しいっぱい食堂



フィットネスルーム



体験入居室



詳しく知りたい方は
北広島市輪厚 558 番地 143
TEL: (011)377-1101

今回は、『株式会社 千歳市場公社』様をご紹介します。

会社設立は昭和53年9月28日で、今年で35年目を迎えます。現在の代表は、副市長・駒澤文雄様です。業務内容は、千歳市公設地方卸売市場内における売買代金の決済の業務を行っています。

公社、買受人、卸売業者等の3者間で締結する「売買代金の支払いに関する契約」に基づいて、取引期間内に生じた売買代金を卸売業者等に支払うことになっているそうです。事務の仕事は、職員の山口千秋さんが、卸売市場内に来られた個人の方や飲食店の方等にカラー複合機(MPC2801SPF)で印刷した年間予定のカレンダーを配布されています。当社で納品させていただいたコピー機が活躍していることは、担当としてはうれしい限りです。

今月5日に千歳市公設地方卸売市場で2012年の初競りが行われ、七草やキュウリ、カイワレのほか、福島のナシ、宮城のころ柿など被災地の野菜や果物も次々と競りに掛けられ、競り人と買い受け人の威勢のいい掛け声が響き渡ったそうです。2011年の取扱量は前半に東日本大震災の影響を受けましたが、後半は持ち直して前年並みで取扱で、金額もほぼ横ばいだったそうです。

これからも東北の産物は風評被害などありますが、市場に出荷される農産物は安全が確認された農産物です。これからも市場を通して私たちの食卓を飾ることでしょう。

食べることを大好きの私、今年も旬を大いに味わいたいと思っています。

(談：W.F・佐藤)



ご来場ありがとうございます

1月26日(木)・27日(金)『Kamino Springfesta 2012』を千歳アルカディア・プラザで開催しました。両日とも天候にも恵まれ北広島・恵庭方面からも沢山の皆様にご来場いただき感謝申し上げます。

昨年の東日本大震災の経験から「ひと&場」をテーマに開催。作業効率から環境やコストを考えたオフィスという「場」、もう一方は、一人ひとりが絆を大切にする地域の活動の「場」。限られた会場スペースに盛りだくさんの新情報、新商品を提供させていただきましたが、体感ご理解はいただけましたでしょうか。これからはよりグローバル化するなかで、日本は、社会は、地球環境はと自らが考えた行動が問われる時代を迎えると思います。是非できることは積極的に検討されることをお勧めします。



イベントテント、テーブル、イス、
カウネット(通販)コーナー
今のテントはワンタッチです



LED も各種(工場灯、防犯
灯、蛍光灯)展示し、実物
を見ていただきました



理想科学コーナーでは、従来の
印刷機、2色両面印刷機、オフィス
を体感いただき、特にオフィスの
速さは好評でした



リコーコーナーでは、カラーコピー
機にプラスをした機能をみて
いただきました
会議システムも好評でした



筆記具などのペンテル商品、明光商会のシュレッダー新機種の機能、カシオのラミネートもできるプリンターも展示・体感していただきました



ウチダコーナーでは、これからの
黒板・e-黒板を体感していただ
きました



node(ノード)チェア
ベースに荷物が置けて、タ
ブレットは大きめです
キャスター付なので移動もラク

「忘年会はチャリティーでいこうよ」

社員のこんな一言からでした。

皆さんに日頃ご購入いただく商品には東北地域で製造されているものが数多くあります。その中には、3.11 東日本大震災で被害を被った会社もあり、私たちは一日も早い復興を願い被災された皆さんへの力添えという趣旨で行いました。

会場では、時間の経過とアルコール摂取による幻覚(?)からか、気前良く募金箱にたくさんの協力をいただき、昨年12月27日に社協を通じて日本赤十字社に寄付させていただきました。

できることなら、今年もこの活動を継続していきたいと思っています。

社員同士もあらためて「絆」の大切さを実感しました。がんばろう、日本!!



2012年 1月 31日 VOL. 79

発行元：(株)力ミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp